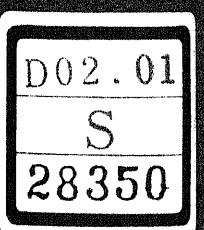


訂增
工業力學

工學博士 柴田畦作 著



寄贈・坂本貞雄氏

元東京帝國大學工學部教授

工 學 博 士

柴 田 畦 作 著

工業力學

第六版

昭和四年六月

東 京

丸 善 株 式 會 社 名著100選図書

登 錄	昭和 58.9.22 日
番 号	第 28350 号
社團 法人	土木学会
附屬	土木図書館

序

本書ハ工業力學ノ一班ヲ説明セルモノニシテ微積分學ノ初步ト物理學ノ大要ヲ會得セル讀者ハ容易ニ之ヲ理解スルコトヲ得ベシ。

説明ノ程度ヲ低カラシムベキ必要ニ迫ラレタルガ爲メ予ノ曩ニ公ニシタル初等工業力學ニ於テハ證明ナクシテ假定シタル定理尠カラズ本書ニ於テハ此等ノモノ、大部分ヲ證明シ盡シタリト雖モ尙此程度ニ於テ假定スルノ止ムヲ得ザリシモノアリ此等ノ定理ハ予ノ更ニ公ニセントセル高等工業力學ニ於テ完全ニ之ヲ證明スペク同書ハ現時ニ於ケル學術ノ最高程度ノモノタラシメンコトヲ期セリ。

數字ヲ用ヒタル例題ハ上記ノ初等工業力學ニ掲ゲタルモノヲ以テ充分トスベク本書ノ讀者ニ對シテハ此種ノ例題ヲ用ヒテ説明ノ助トスルノ要ナシト認メタルガ故ニ總テ之ヲ省略セリ。

校正ノ嚴密ハ此種ノ書ニ於テ緊要ノ事タルガ故ニ初等工業力學ニ於テ既ニ苦キ經驗ヲ有セル予ハ本書ニ於テ其過ヲ再ビセザランコトヲ勉メタリ

明治四十一年二月

東京ニ於テ 著者

再版ノ序

本書ノ再版ニ際シ第三編第五章ノ連桁ニ關セル全部,第四編第二章ノ粉體ノ壓力及抵抗力ニ關セル一部及第八編第二章ノ擁壁ニ關セル一部ヲ增補シ其他多少ノ誤謬及誤植アリシモノヲ訂正シタリ.茲ニ本書ニ此等ノ改良ヲ加フルノ機ヲ得タルハ予ノ最モ幸トスル所ナリ.

大正二年七月

東京ニ於テ 著者

第五版ノ序

大正十二年九月ノ大震火災ノタメ,本書ノ原版亦其災ヲ受ケシニヨリ,著者之ガ増補刊行ノ意アリ.偶病ヲ獲之ヲ果サズシテ,大正十四年一月遂ニ逝ク.

著者ガ學術的良心ノ極メテ敏感ニシテ,其一點一劃モ之ヲ忽ニセザリシコトハ,汎ク世ノ知ルトコロナリ.著者ノ遺稿中,貴重ナル論文ノ保存セラル、モノアリト雖,著者自ラ改訂ノ意アリテ果サザリシモノアルノ故ヲ以テ,之ヲ公表スルハ,遺言ニヨリテ許サレザルトコロナリ.然ニ,本書ノ如キハ既ニ版ヲ重ネ斯界ヲ益スルコト鮮少ナラズ,江湖又之ガ再刊ヲ望ムコト,極メテ切ナルモノアルガ故ニ,茲ニ再ビ其版ヲ興スモ敢テ著者ノ遺志ニ反セザルヲ確信シ,遺族及東京帝國大學工學部土木教室各教官相謀リ,再ビ之ヲ世ニ刊行スルコトセリ.

余ハ親シク著者ニ教ヲ享ケ,其學識人格ヲ敬慕シ,之ニ師事シ,後亦同ジク東京帝國大學工學部學生ニ本書ヲ基トシテ應用力學ヲ講ジタルヲ以テ,自ラ菲才ヲ顧ズ,敢テ校正ノ任ニ當レリ,校正ノ嚴正ナランガ爲ニハ最善ノ努力ヲ用ヒ,既往版ニ於ケル多少ノ誤植モ之ヲ訂正スルニ勉メタリ.

此機ニ際シ,若シ著者在世シテ,本書ニ増補改訂ヲ加ヘタランニハ,錦上添花更ニ斯界ニ一大偉書ヲ寄與シタランコトヲ想ハザル

ヲ得ズ。

茲ニ第五版成ルニ當リ、恩師ナル著者ヲ忍ブコト一層切ナルモノ存スルナリ。

大正十五年十二月

東京帝國大學工學部土木教室ニテ

山崎匡輔

目次

第一編

緒論

第一章

度量衡及時ノ單位

1. 長サノ單位

	頁
1. 日本單位	1
2. 佛單位	2
3. 英單位	2
4. 長サノ日佛英單位比較	2

2. 面積及容積ノ單位

5. 面積單位	3
6. 面積ノ日佛英單位比較	3
7. 容積單位	4
8. 容積ノ日佛英單位比較	4

3. 重量ノ單位

9. 日本單位	4
10. 佛單位	5

11. 英単位	5
12. 質量ノ日佛英単位比較	5

4. 時ノ単位.

13. 時ノ単位	6
----------	---

第二章

力

1. 総 説.

14. 力ノ単位	7
15. 力ノ三元素	7
16. 指線	7
17. 力ノ指線ニ於ケル分力	7
18. 力ノ指線ニ對スル力率	8
19. 力率ノ単位	9
20. 偶力、偶力率	9
21. 總代力又ハ總代偶力	10
22. 定理 1. 總代力又ハ總代偶力ハ唯一ナリ	11

系. 任意ノ矩坐標軸 x, y, z ニ對シ

$$\Sigma Q_x = 0, \Sigma Q_y = 0, \Sigma Q_z = 0$$

$$\Sigma M_x = 0, \Sigma M_y = 0, \Sigma M_z = 0$$

ナルトキハ任意ノ他ノ矩坐標軸ニ對スルモノ亦然リ

11

23. 定理 2. 同一ノ大サ及動線ト反対ノ方向ヲ有スル二力ハ總代力又ハ總代偶力ニ影響テ及ボスコトナシ	11
---	----

24. 力ノ多角形	11
-----------	----

25. 定理 3. 總代力ヲ有セルカノ多角形ノ始點ヨリ終點ニ向ヘル線ハ該總代力ノ大サ及方向ヲ示ス	12
--	----

系 1. 總代力零ナル如キカノ多角形ハ閉多角形ナリ	12
系 2. 一點ニ集レルカノ多角形 閉多角形ナルトキハ其總代力ハ零ナリ	12

2. 同一ノ平面上ニ於ケル力.

26. 問題 1. 總代力ヲ有セルカノ總代力ノ圖式解法	12
第一法	12
第二法	13
27. 問題 2. 總代力ヲ有セルカノ之ニ垂直ナル指線ニ對スル力率ノ圖式解法	14
28. 問題 3. 與ヘラレタル多クノ力ト共ニ其總代力ヲ零ナラシムベキ二力ノ各ヲシテ與ヘラレタル一點ヲ通過セシメ而シテ其一ハ此二點ヲ結ベル線以外ノ一線上ニアラシメンコトヲ求ム	15
29. 定理 4. 任意ノ二極ニ相當セル二索多角形ノ相對邊ノ交點ハ總テ二極ヲ結ブ直線ニ平行ナル一直線上ニアリ	16
系 1. 極軸中ノ任意ノ極ニ對スル索軸ハ常ニ極軸ニ平行ス	17
系 2. 索多角形ノ一定セル邊一定ノ點ヲ通過スルトキハ極軸中ノ任意ノ極ニ對スル索軸ハ該定點ヲ通過シ極軸ニ平行セル唯一ノ直線ナリ	18
系 3. 二定邊ノ各ガ定點ヲ通過セル索多角形ニ對セル極ハ該二定點ヲ結合セル直線ニ平行ナル一直線上ニアリ	18
30. 問題 4. 兩端ノ邊各與ヘラレタル點ヲ通過スペキ索多角形ヲ求ム	18
31. 問題 5. 任意ノ兩邊ノ各與ヘラレタル點ヲ通過スペキ索多角形ヲ求ム	18
32. 問題 6. 任意ノ三邊ノ各與ヘラレタル點ヲ通過スペキ索多角形ヲ求ム	18

第三章

豫備數學

1. 平面圖ノ一次率.

33. 平面圖ノ一次率	20
例 1. 矩形ノ一次率	20
例 2. 缺圓ノ一次率	21
34. 平面圖ノ一次率ノ單位	21
35. 問題 1. 平面圖ノ面積及一軸ニ對スル一次率ヲ知リテ該軸ニ平行ナル他ノ軸ニ對スル一次率ヲ求ム	21
36. 問題 2. 兩矩坐標軸ニ對スル平面圖ノ一次率ヲ知リテ坐標原點ヲ通過セル任意ノ他ノ軸ニ對スル一次率ヲ求ム	22

2. 平面圖ノ圖心.

37. 平面圖ノ圖心	22
例 1. 矩形及圓ノ圖心	23
例 2. 三角形ノ圖心	23
例 3. 梯形ノ圖心	23
38. 定理 1. 平面圖ノ圖心ヲ通過スル任意ノ軸ニ對スル該圖ノ一次率ハ常ニ零ナリ	24
39. 定理 2. 平面圖ノ對稱軸ハ常ニ其圖心ヲ通過ス	24
40. 問題 3. 與ヘラレタル面積ト圖心トヲ有スル多クノ平面圖ヨリ成レル全圖ノ圖心ヲ求ム	24

3. 平面圖ノ自乘率及相乘率.

41. 平面圖ノ自乘率及相乘率. 自乘率半徑	25
例 1. 矩形ノ自乘率	26

例 2. 圓ノ自乘率	27
42. 平面圖ノ自乘率, 相乘率及自乘率半徑ノ單位	27
43. 問題 4. 平面圖ノ面積及一軸ニ對スル該圖ノ一次率及自乘率ヲ知リテ該軸ニ平行ナル他ノ軸ニ對スル自乘率ヲ求ム	27
44. 定理 3. 多クノ平行セル軸ニ對セル平面圖ノ自乘率ノ中該圖ノ圖心ヲ通過セル軸ニ對セルモノ最小ナリ	27
45. 問題 5. 兩矩坐標軸ニ對スル平面圖ノ自乘率及相乘率ヲ知リテ坐標原點ヲ通過スル他ノ矩坐標軸ニ對スルモノヲ求ム	28
46. 平面圖ノ主軸	29
47. 定理 4. 平面圖ノ主軸ニ對スル自乘率ハ最大又ハ最小ナリ	29
48. 平面圖ノ自乘率橢圓	29
49. 定理 5. 平面圖ノ對稱軸ハ亦其主軸ノ一ナリ	31

第四章

面 力

50. 面力. 面力強度	32
51. 面力強度ノ單位	32
52. 問題 1. 平面圖ニ働ケル等布垂面力ノ總代力ヲ求ム	32
第一. 坐標原點平面圖ノ任意ノ一點ナルトキ	32
第二. 坐標原點平面圖ノ圖心ナルトキ	34
53. 問題 2. 平面圖ニ働ケル等變垂面力ノ總代力又ハ總代偶力ヲ求ム	34
第一. 總代力	34
其一. 坐標原點平面圖ノ任意ノ一點ナルトキ	34
其二. 坐標原點平面圖ノ圖心ニシテ坐標軸其主軸ナルトキ	35
其三. 坐標原點ハ平面圖ノ圖心, 坐標軸ハ其主軸ニシテ $m = 0$ 又ハ $x_0 = 0$ ナルトキ	35
例. 平面圖矩形ナルトキ	36

第二 總代偶力	36
其一. 坐標原點平面圖ノ任意ノ一點ナルトキ	36
其二. 坐標原點平面圖ノ圖心ニシテ坐標軸共主軸ナルト キ	37
其三. 坐標原點ハ平面圖ノ圖心, 坐標軸ハ共主軸ニシテ且 $m = 0$ 又ハ $M_y = 0$ ナルトキ	37
54. 定理 奥ヘラレタル總代力又ハ總代偶力ヲ有スル等布垂面力 强度又ハ等變垂面力强度ノ値ハ坐標軸ノ選擇如何ニヨリテ變 ズルコトナシ	38
55. 平面圖ノ心	40
例 1. 圓ノ心	40
例 2. 矩形ノ心	41

第五章

速度及加速度

1. 線速度.

56. 點ノ線速度	42
57. 線速度ノ單位	42
58. 線速度ノ坐標軸ニ於ケル分速度	43
59. 線速度ノ指線ニ於ケル分速度	43

2. 線加速度.

60. 點ノ線加速度	43
61. 線加速度ノ單位	44
62. 線加速度ノ坐標軸ニ於ケル分加速度	44
63. 切觸加速度及垂直加速度	45
64. 線加速度ノ指線ニ於ケル分加速度	46

3. 角速度.	
65. 直動及迴動	46
66. 物體ノ角速度	46
67. 角速度ノ單位	47
68. 回動ニヨリテ生ズル點ノ變位	47

第二編

力學ノ原理

第一章

にゅーとんノ動ノ三則

69. にゅーとんノ動ノ三則	49
70. にゅーとんノ動ノ三則ノ評論	52

第二章

動及勢

71. 動	93
72. 回動ニヨリテ爲セル動	54
73. 活勢	54
74. 定理. 或ル時間内ニ於ケル動ノ變化ハ該時間内ニ於ケル活勢 ノ變化ト相等シ	54

第三章

力學ノ基礎原理

75. 可能變位及可能動	56
76. 靜力學ノ原理	56
例. 各點ノ比較位置不變ナル自由物體	56
77. 內力應力及外力	57
78. 公理 1. 靜止ノ狀態ニ於ケル物體ヲ任意ノ断面ニテ任意ノ數ノ部分ニ分チ其任意ノ一部分ヲ取リテ其断面ニ於ケル應力ヲ此部分ニ對シテ外力ナリト考フルトキハ該一部分ハ亦靜止ノ狀態ニアリ	58
79. 公理 2. 靜止ノ狀態ニ於ケル物體ヲ任意ノ断面ニテ任意ノ數ノ部分ニ分ツトキハ其任意ノ一部分ハ各點ノ比較位置不變ニシテ靜止ノ狀態ニアルモノト考フルコトヲ得ベシ	58

第三編

彈體靜力學

第一章

物體ノ強弱

80. 張力・壓力及裁力	59
81. 應變率	59
82. 應力强度ト應變率トノ關係	60
83. ふっくノ法則	61
84. 物體ノ破壞強度	62

85. 物體破壞ノ原因	64
86. 急激ナル外力ノ物體ニ及ボス影響	64
87. 反覆セル外力ノ物體ノ破壞強度ニ及ボス影響	64
88. 物體ノ保安・安全率	66

第二章

抗張材及短柱

89. 抗張材及短柱	68
90. 断面ノ圖心ヲ通過セル張力又ハ壓力ヲ受クル抗張材又ハ短柱	68
第一. 應力强度	68
第二. 應變率	69
91. 断面ノ圖心ヲ通過セサル張力又ハ壓力ヲ受クル抗張材又ハ短柱	69
92. 抗張材及短柱ノ設計	70

第三章

單 柄

1. 總 說

93. 柄	71
94. 集中荷重及等布荷重	72

2. 單柄ニ於ケル外力

95. 弯曲率及裁力	73
96. 集中荷重ニ對スル反力, 弯曲率及裁力	74
第一. 解析解法	74

其一. 反力	74
其二. 弯曲率	75
其三. 裁力	78
第二. 弯曲率圖及裁力圖ヲ用ユル圖式解法	80
其一. 反力	80
其二. 弯曲率	81
其三. 裁力	82
第三. 影響線ヲ用ユル圖式解法	83
其一. 反力	83
其二. 弯曲率	84
其三. 裁力	85
97. 等布荷重ニ對スル反力, 弯曲率及裁力	87
第一. 反力	87
第二. 弯曲率	87
第三. 裁力	88
3. 単桁ニ關スル其他ノ各論.	
98. 単桁ニ於ケル應力強度	89
第一. 總說	89
第二. 垂面應力強度	90
例 1. 斷面矩形ナル單桁	93
例 2. 斷面圓形ナル單桁	93
第三. 切面應力強度	93
例. 斷面矩形ナル單桁	95
99. 等強單桁	96
例 1. 斷面矩形ニシテ荷重一個ノ集中荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強單桁	96
例 2. 斷面矩形ニシテ荷重單桁ノ全長ニ涉レル等布荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強單桁	97
100. 単桁ノ經濟的形狀	98
101. 単桁ノ弯曲量, 傾斜角及曲率半徑	98

例 1. 一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル弯曲剛率常數ナル單桁	100
例 2. 全長ニ涉レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル弯曲剛率常數ナル單桁	101
102. 單桁ニ於ケル動	102
例. 一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル弯曲剛率常數ナル單桁	103
103. 單桁ノ設計	103

第四章

突 桁

1. 突桁ニ於ケル外力.

104. 集中荷重ニ對スル弯曲率及裁力	105
第一. 解析解法	105
其一. 弯曲率	105
其二. 裁力	105
第二. 弯曲率圖及裁力圖ヲ用ユル圖式解法	106
其一. 弯曲率	106
其二. 裁力	107
第三. 影響線ヲ用ユル圖式解法	107
其一. 弯曲率	107
其二. 裁力	108
105. 等布荷重ニ對スル弯曲率及裁力	108
第一. 弯曲率	108
第二. 裁力	109

2. 突桁ニ關スル其他ノ各論.

106. 突桁ニ於ケル應力強度	109
------------------------	------------

107. 等強突柄	111
例 1. 断面矩形ニシテ荷重放端ニ於ケル一箇ノ集中荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強突柄	111
例 2. 断面矩形ニシテ荷重突柄ノ全長ニ涉レル等布荷重ナルトキノ垂面應力強度ニ對スル等強突柄	112
108. 突柄ノ經濟的形狀	112
109. 突柄ノ彎曲量,傾斜角及曲率半徑	112
例 1. 放端ニ於テ一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル突柄	112
例 2. 全長ニ涉レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル突柄	113
110. 突柄ニ於ケル動	113
例. 放端ニ於テ一個ノ集中荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル突柄	113
111. 突柄ノ設計	114

第五章

連 柄

1. 總 説

112. 豫備定理. 其一	115
113. 豫備定理. 其二	116
114. 三個反偶力ノ定理	119
例 1. 兩端及支點常ニ一直線上ニアリテ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル連柄	119
例 2. 兩端及支點常ニ一直線上ニアリ,中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ集中荷重ヲ受クル連柄	119
例 3. 兩端及支點常ニ一直線上ニアリ,中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ全長ニ涉レル等布荷重ヲ受クル連柄	120

2. 一端定端,他端支端ニシテ常ニ同高ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル一徑間ノ連柄.

115. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率,裁力,彎曲量及傾斜角	120
第一. 反力及反偶力率	120
第二. 彎曲率	121
第三. 裁力	121
第四. 彎曲量及傾斜角	122
116. 等布荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率,裁力,彎曲量及傾斜角	123
第一. 反力及反偶力率	123
第二. 彎曲率	123
第三. 裁力	125
第四. 彎曲量及傾斜角	126

3. 兩端定端ニシテ常ニ同高ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル一徑間ノ連柄.

117. 一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率,裁力及彎曲量	127
第一. 反力及反偶力率	127
第二. 彎曲率	128
第三. 裁力	128
第四. 彎曲量	129
118. 等布荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率裁力及彎曲量	129
第一. 反力及反偶力率	129
第二. 彎曲率	130
第三. 裁力	132
第四. 彎曲量	133

4. 兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ相等シキ二徑間ノ連柄.

119.	一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率及裁力	133
第一.	反力及反偶力率	133
第二.	彎曲率	135
第三.	裁力	136
120.	等布荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率及裁力	136
第一.	反力及反偶力率	136
第二.	彎曲率	138
第三.	裁力	139
5. 兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ相等シキ三徑間ノ連桁		
121.	一個ノ集中荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率及裁力	141
第一.	反力及反偶力率	141
第二.	彎曲率	143
其一.	徑間 l_1	143
其二.	徑間 l_2	144
其三.	徑間 l_3	146
第三.	裁力	146
其一.	徑間 l_1	146
其二.	徑間 l_2	146
其三.	徑間 l_3	147
122.	等布荷重ニ對スル反力,反偶力,彎曲率及裁力	147
第一.	反力及反偶力率	147
第二.	彎曲率	149
其一.	徑間 l_1	149
其二.	徑間 l_2	150
其三.	徑間 l_3	152
第三.	裁力	153
其一.	徑間 l_1	153
其二.	徑間 l_2	154

其三.	徑間 l_3	156
-----	----------	-----

**6. 兩端支端ニシテ中立軸ニ對スル
彎曲剛率常數ナル連桁.**

123.	兩端支端ニシテ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル連桁ノ反力, 反偶力,彎曲率,裁力及設計	156
第一.	反力及反偶力率	156
第二.	彎曲率及裁力	157
第三.	設計	157
例.	兩端支端ニシテ兩端及支點常ニ一直線上ニアリ中立軸 ニ對スル彎曲剛率常數ニシテ桁ノ全長ニ涉レル等布荷量ヲ 受クル相等シキ徑間ノ連桁	157

第六章

かすちりあの一ノ定理

124.	かすちりあの一ノ定理	159
125.	かすちりあの一ノ定理ノ桁ニ於ケル應用	160
例 1.	第 101 節例 1 ニ於ケル η_D ノ求ム	160
例 2.	第 109 節例 1 ニ於ケル η_B ノ求ム	161
例 3.	第 115 節ニ於ケル R_A, M_A, R_B, η_D ノ求ム	161
例 4.	第 117 節ニ於ケル $R_A, M_A, R_B, M_B, \eta_D$ ノ求ム	162
例 5.	三個反偶力ノ定理ヲ求ム	162

第七章

長柱

126.	長柱	164
127.	断面極メテ小ニシテ々軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル長柱	164

第一. 兩端定端ナルトキ	164
第二. 一端定端ニシテ他端放端ナルトキ又ハ兩端放端ナルトキ	166
第三. 結論	166
128. 断面有限ナル長柱	167
129. 長柱ニ關スル公式ノ評論	168
130. 長柱ノ設計	169
131. 短柱ト長柱トノ區別	169

第八章

雜論

1. 軸.

132. 軸	170
133. 断面圓形ナル軸ニ於ケル應力強度	170
134. 断面圓形ナラザル軸ニ於ケル應力強度	172
135. 軸ノ設計	173

2. 薄キ厚サヲ有セル管.

136. 薄キ厚サヲ有セル管ノ破裂	173
137. 薄キ厚サヲ有セル管ノ壓潰	174

3. 轉子.

138. 圓盤轉子	176
139. 圓錐轉子	178

4. 混成應力.

140. 抗張材又ハ抗壓材ト桁トノ混成	179
---------------------	-----

第一. 抗張材ト桁トノ混成	179
例. 抗張材ト其全長ニ涉レル等布荷重ヲ受ケ中立軸ニ對スル彎曲剛率常數ナル單桁トノ混成	179
第二. 抗壓材ト桁トノ混成	179
141. 傾桁	180

第九章

應力強度論

142. 總說	181
143. 定理 1. 一線ヲ通過シ互ニ垂直ナル面ニ於ケル切面應力強度ハ其值相等シ	182
144. 問題 1. z 軸ニ平行セル一線ヲ通過シ互ニ垂直ナル面ニ於ケル應力強度ヲ與ヘラレタルモノトシ該線ヲ通過セル任意ノ他ノ面ニ於ケル應力強度ヲ求ム	184
145. 主應力強度	185
146. 定理 2. 主應力強度ノ數値ハ最大又ハ最小ナリ	186
147. 第一應力強度格圓. 第二應力強度圓·錐曲線. 共軛應力強度	186
148. 問題 2. 切面分應力強度ノ最大ナル面及其最大值又ハ最大數値ヲ求ム	189
149. 問題 3. 傾斜角ノ最大ナル面及之ニ對スル應力強度ヲ求ム	189
150. 問題 4. z 軸ニ平行セル一線ヲ通過セル任意ノ二面ニ於ケル應力強度及傾斜角ヲ與ヘラレタルモノトシ主應力強度及主面ヲ求ム	190
例 1. 與ヘラレタル應力強度共軛ナルトキ	192
例 2. 與ヘラレタル應力強度ノ面互ニ垂直ナルトキ	193
例 3. 例 2 ノ單桁ニ於ケル應用	193
151. 問題 5. 各方向ニ於ケル應力強度常ニ同號ヲ有セルトキ最大傾斜角ヲ與ヘラレタルモノトシ與ヘラレタル共通傾斜角ヲ有セル共軛應力強度ノ比ヲ求ム	194

第四編

粉體靜力學

第一章

摩擦力

152. 摩擦力 ……………… ……………… ……………… 197
 153. 靜摩擦力ニ關スル法則 ……………… ……………… 197

第二章

粉體ノ壓力及抵抗力

1. 總 說

154. 粉體 ……………… ……………… ……………… 200
 155. 土ノ崩壊及靜止 ……………… ……………… 200
 156. 土ノ壓力及抵抗力ニ關スル理論 ……………… 201

2. 第一說

157. 土ノ壓力 ……………… ……………… ……………… 201
 例 1. 土ノ表面平面ニシテ荷重ナキトキノ凝集高度 … 204
 例 2. 凝集力ナキ土ノ壓力 ……………… ……………… 207
 例 3. 土ノ表面平面ニシテ凝集力ナク等布荷重ヲ受クルト
 キノ土ノ壓力 ……………… ……………… ……………… 208
 第一. 圖式解法 ……………… ……………… ……………… 208
 第二. 解析解法 ……………… ……………… ……………… 210
 158. 土ノ最大抵抗力 ……………… ……………… ……………… 211

- 例 1. 凝集力ナキ土ノ最大抵抗力 ……………… ……………… 212
 例 2. 土ノ表面平面ニシテ凝集力ナク等布荷重ヲ受クルト
 キノ土ノ最大抵抗力 ……………… ……………… ……………… 213
 第一. 圖式解法 ……………… ……………… ……………… 213
 第二. 解析解法 ……………… ……………… ……………… 214

3. 第二說

159. 土ノ表面平面ニシテ凝集力ナク等布荷重ヲ受クルトキノ土ノ
 壓力 ……………… ……………… ……………… ……………… 215
 第一法 ……………… ……………… ……………… ……………… 215
 第二法 ……………… ……………… ……………… ……………… 219
 第三法 ……………… ……………… ……………… ……………… 223
 160. 土ノ表面平面ニシテ凝集力ナク等布荷重ヲ受クルトキノ土ノ
 最大抵抗力 ……………… ……………… ……………… ……………… 224
 第一法 ……………… ……………… ……………… ……………… 225
 第二法 ……………… ……………… ……………… ……………… 227
 第三法 ……………… ……………… ……………… ……………… 228

4. 土ノ支持力

161. 土ノ支持力 ……………… ……………… ……………… 228
 例. 築堤ノ根堀ノ深サヲ求ム ……………… ……………… 229

5. 土ノ壓力及抵抗力ニ關スル理論ノ評論

162. 土ノ壓力及抵抗力ニ關スル理論ノ評論 ……………… 230

第五編

液體靜力學

1. 總 說

2. 浮體ノ靜止

166. あるきめですノ原理	… … … … …	233
167. 微分變位ニ對スル傾心	… … … … …	234

第六編

液體動力學

第一章

定理ニ關スルべるぬ一いノ定理

第二章

孔口ニ於ケル水流

173. 不變頭ノ下ニ孔口ニ於ケル水流	241
第一. 下流ノ水位孔口以下ニアルトキ	241
其一. 流出速度. 速度系數	241
其二. 縮流. 縮流系數	242
其三. 流量. 流量系數	242

例 1. 孔口矩形ニシテ $p_0=p_0'$ ナルトキ	243
例 2. 孔口圓形ニシテ $p_0=p_0'$ ナルトキ	244
第二. 下流ノ水位孔口以上ニアルトキ	244
例. 孔口矩形ニシテ $p_0=p_0'$ ナルトキ	245
第三. 下流ノ水位孔口ノ中途ニアルトキ	245
變頭ノ下ニ孔口ニ於ケル水流	246
速度系數縮流系數, 流量系數ノ値	247
第一. 薄側孔口	248
第二. 鈴形孔嘴	249
第三. 筒形孔嘴	249
第四. 漸縮孔嘴	249
第五. 漸開孔嘴	250
第六. ぼるだノ孔嘴	251
第七. 誘導流出路	251

第三章

缺口又ハ堰ニ於ケル水流

第四章

管ニ於ケル水流

178.	管ニ於ケル損失頭	257
第一.	管面ノ摩擦ニヨリテ生ズル損失頭	257
第二.	管ノ入口ノ抵抗ニヨリテ生ズル損失頭	259
第三.	管徑ノ急激ナル増加ニヨリテ生ズル損失頭	260
第四.	管徑ノ急激ナル減少ニヨリテ生ズル損失頭	261
第五.	管ノ折曲ニヨリテ生ズル損失頭	262
第六.	管ノ弯曲ニヨリテ生ズル損失頭	263
第七.	水門, 活嘴及弁ニヨリテ生ズル損失頭	263
179.	不變斷面ヲ有セル管ニ於ケル定流	265
例 1.	$A_1 A_2$ ノ間ニ管面ノ摩擦ニヨリテ生ズルモノ以外ノ 損失頭ナキトキ	266
例 2.	二個ノ貯水池ヲ連結セル管	267
例 3.	働ヲ爲シ得ベキ水力	268
180.	枝管ニ於ケル水ノ定流	268

第五章

開路ニ於ケル水流

1. 開路ニ於ケル損失頭.

181.	開路ニ於ケル損失頭	270
------	-----------	-----

2. 不變斷面ト不變傾斜トヲ有スル開路
ニ於ケル水ノ定流.

182.	總說	272
183.	斷面ノ形狀	273
例 1.	斷面等脚梯形ニシテ斷面積, 底ノ傾斜及斷面ノ法ノ與 ヘラレタルトキ平均速度又ハ流量ヲ最大ナラシムベキ断面 ノ大サヲ求ム	273

例 2.	底ノ傾斜及幅ノ與ヘラレタルトキ水深ノ大小ニ關セ ズ其平均速度ヲシテ常數ナラシムベキ断面ノ形狀ヲ求ム	274
184.	開路ノ断面ニ於ケル速度ノ分布	274
3.	變斷面ト變傾斜トヲ有スル開路ニ 於ケル水ノ定流.	
185.	變斷面ト變傾斜トヲ有スル開路ニ於ケル水ノ定流	277
例.	深サニ比シテ幅ノ大ナル矩形断面ノ開路	279
186.	段波	280

第七編

完全ニ可撓ニシテ完全ニ伸

縮ナキ線體ノ靜力學

1. 總說.

187.	線體, 平衡線	285
188.	平衡線ノ一般ナル形狀	285
189.	平面平衡線ノ方程式	286
190.	平面平衡線體ニ於ケル應力	286
191.	平面平衡線體ニ於ケル外力	287
例.	荷重水, 土又ハ石ナルトキ	287

2. 特殊ノ平面平衡線體.

192.	等布垂直壓力ニヨリテ生ズル平面平衡線體	289
193.	長サノ單位ノ重量常數ナル平面平衡線體	290
194.	水ノ荷重ニヨリテ生ズル平面平衡線體	291
195.	土ノ荷重ニヨリテ生ズル平面平衡線體	295

196. 石ノ荷重ニヨリテ生ズル平面平衡線體 … … … … … 296

第八編

構造物靜力學

第一 章

平面結構

197. 結構 … … … … … … … … … … … 303
 198. 結構ニ關セル假定 … … … … … 303
 199. 外力格點ノミニ勧ケルトキ平面結構ヲ成セル各材ノ平衡條件 304
 200. 外力格點ノミニ勧ケルトキ平面結構ヲ成セル各材ノ應力 … 304
 第一. くれもなノ方法 … … … … … 304
 第二. くるまんノ方法 … … … … … 307
 201. 外力格點及其他ノ所ニ勧ケルトキ平面結構ヲ成セル各材ノ應力… … … … … 309

第二 章

石堰及擁壁

1. 總 說.

202. 石堰及擁壁 … … … … … 310
 203. 石堰及擁壁ニ於ケル應力強度 … … … … 310
 204. 石堰及擁壁ノ保安 … … … … … 311

2. 石 堰.

205. 總說 … … … … … 312

206. 豊備公式… … … … … … … … … 313

207. 石堰ノ設計 … … … … … … … … 315

3. 擁 壁.

208. 擁壁ニ於ケル外力 … … … … … … 318

209. 擁壁ノ設計 … … … … … … 318

例. 表面平面ニシテ凝集力ナク等布荷重ヲ受クル土ヲ支フ
ル擁壁… … … … … … … … 320